

## おわりに

今年度実施された第8次静岡県保健医療計画の中間見直しにおいて、医師確保に関する部分（第7章第1節）は、令和2年（2020年）3月に策定された「静岡県医師確保計画」の内容を踏まえつつ、静岡県医療対策協議会・同医師確保部会等での協議を経て、全面的な見直しが行われました。

その中では、医師数の増加、特に病院従事医師や、若手医師、中でも臨床研修修了後の専攻医の確保、増加する女性医師や今後増加が見込まれる65歳以上の医師の活躍支援などが柱となっています。

今後、様々な施策が展開されていくこととなりますが、限られた医師数の中で、今年度作成した資料集で示したような「地域差」をどのように反映させていくかは非常に難しい課題であると考えています。具体的には、専門性の高い医師を育てるためには、一定の基準以上を満たす症例数を経験する必要がある一方、今後は慢性疾患を複数抱える高齢者の構成割合が増加し続けることから、地域では、一部の領域に特化することなく、幅広い領域の知識と技量を持つ医師の養成が望まれています。また、周産期医療や小児医療のように、絶対数は多くないものの、地域ごとに一定水準の医療提供体制を維持することが必要な領域（診療科）もあります。「地域差」を反映させつつ、地域ごとに確保すべき医療提供体制をどのように維持していくのか、地域ごとの課題を地域医療構想調整会議等で抽出し、全県レベルの関連専門家会議（各種協議会等）で対応策を協議し、地域にフィードバックしていくサイクルを繰り返すことが大変重要であると考えています。

当講座では、引き続きこれらに資する調査分析を行うとともに、サブスペシャリティ領域を含む専門研修の動向や、県内での医師の働き方改革への対応状況などを注視しつつ、医師の研修体制の充実・強化に向けた支援に取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、本講座の活動にご支援いただいた静岡県健康福祉部医療局並びに県内医療関係者の皆様、本学教職員の皆様に心よりお礼申し上げます。

令和4年（2022年）3月

浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座  
竹内 浩視

表紙写真：田貫湖越しに望む富士山（富士宮市佐折）

裏表紙写真：浜名湖・内浦の朝（浜松市西区館山寺町）

浜松医科大学 地域医療支援学講座 令和3年度（2021年度）実績報告書

令和4年（2022年）3月

発行：国立大学法人浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座  
（静岡県寄附講座）

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

TEL/FAX 053-435-2446



浜松医科大学  
Hamamatsu University School of Medicine

医学部 地域医療支援学講座